

てしがわら まさゆき 正之

全文をご覧ください！
 テッシーかわら版は
 こちら  

郡山駅 39 マルシェとカレーを食べて能登半島に寄付 2024.3.9

JR 郡山駅が、利用者への日頃の感謝を込めて駅構内 1 階で「郡山駅 39 マルシェ」を初めて開いた。同時に、こども駅長撮影会などが行われていた。



また、開成山大神宮では、スリランカ米山学友会企画による「カレーを食べて能登半島に寄付」が、1食1,200円、100食限定で販売されていた。

国風盆栽展 2024.2.10

第 98 回となる国風盆栽展（前期）が、東京都美術館で開催されている。

146 席の盆栽のうち、15 席が中華人民共和国の方が



所蔵者。タイ・イタリア・スイス人所蔵の出展もあった。いずれも芸術性に優れた盆栽ばかりだった。

ふくしまの酒・味噌・醤油まつり 2024.3.3

福島県産品振興戦略課が主催で 4 年ぶりに開催された「ふくしまの酒・味噌・醤油まつり」隣では、水田畑作課が主催の「ふくしま大豆マルシェ」。



いずれも高い品質を誇る酒・味噌・醤油と福島産大豆を使った豆腐や豆菓子などの加工食品を求め、大勢の老若男女で賑わっていた。

福島の将来展望について 2024.2.7

模様替協会主催で、住宅設備メーカーやサッシ施工協会との交流講演会に、講師としてお招きいただき、「福島の将来展望について」の演題で話をさせていた



できました。その後の懇親会では、様々な市政に対する要望をお聴きしました。

バンド結成 50 周年記念コンサート 2024.2.23

夫婦二人でリードとコーラスを柔軟に交代しあって歌う「インザウィンド」バンド結成 50 周年記念コンサートが、開成山大神宮拝殿で開催された。



菊地美一ご夫婦を大好きな仲間約 100 人が集まった。

豆まきと餅つき 2024.2.3

2月4日は立春で旧暦の新年の始まりであり、2月3日は大晦日を意味していた。邪気の象徴の鬼を祓い清めて新年を迎え、1年間の無病息災を祈る。

そこで、社会福祉協議会橘支部の主催で、橘小学校の生徒たちが豆まきと餅つきを体験した。



橘地区明るいまちづくり推進委員の皆さんも、大変お疲れさまでした。

てしがわら まさゆき 正之



逢瀬ゆめくらぶの新年会

2024.1.28

地域づくりで総務大臣賞もいただいている、逢瀬ゆめくらぶの新年会が、5年ぶりに会長宅で行われ、約



30人が集まった。久しぶりの顔合わせ、狭いながらも楽しい新年会だった。

福島県看護連盟の新年交礼会

2024.1.27

福島県看護連盟の新年交礼会がリモートで行われ、国・県会議員、友好団体、連盟役員、支部長、支部幹事長、青年部代表者、連盟会員がズームで参加した。

特別講演として、衆議院議員亀岡よしたみ代議士が、



看護職員の確保、資質向上、業務の効率化などについて講演を行った。専門性のある看護師の諸課題について、分かりやすく講演した。

ふくしま SDGs 未来博

2024.1.20

体験しながらSDGsと防災を学び、福島のより良い未来を考えようと「ふくしまSDGs未来博」がビッグパレットふくしまで、今日、明日と開催されている。防災など各種体験コーナーや県内のうまいものが集まった飲食ブースも充実。



今日は大寒ですが、館内は多くの親子連れで賑わっていて、熱気に満ちあふれていた。

うねめ供養祭・かめ祭

2024.1.13

うねめ伝説発祥の地である片平町は、毎年奈良市親善使節団を迎え、「うねめ供養祭・かめ祭」をうねめ神社で開催している。

私も、ちびっこうねめ祭り実行委員会の1人として、祭りに使用するちょうちんの入魂式をうねめ神社で行っている御縁で、来賓として招待された。



4年ぶりの交歓会で、和やかな雰囲気での会が進行し、楽しそうな笑い声が会場に響いていた。

如寶寺七日堂まいり

2024.1.6

今日から7日まで、如寶寺の七日堂まいり。馬が駆けるように、早く願いがかなうと言う馬頭観世音の祭礼。



今年も縁起物を求めるため、如寶寺を訪れた。参道には、ダルマ、まさるなどを売る露店がずらりと並び、一年の幸せを願う多くの参拝者で賑わっていた。

初売り

2024.1.2

年の初めといえば福袋。お得な食料品からファッション・雑貨などが入った、8000袋の初夢袋が販売される「うすい百貨店」の初売り。

2日は午前8時30分から。1袋1万円の初夢袋を



買うと、10万円のうすいの商品券が当たるチャンスがある。思いタツたが吉日と、運試しに大勢の人が開店を待っていた。